

帝京平成大学教育DX推進計画

I 基本方針

帝京平成大学（以下「本学」という）は、学修者が「何を学び、身に付けることができたのか」を明確にし、学修の成果を学修者が実感できる教育の実現を図るため、デジタル・トランスフォーメーション（以下、DX という。）の推進に努めます。

II 計画

基本方針を遂行するため、以下の5項目における取り組みを推進します。

1. 基本方針を確実に進めるための学内体制の確立
2. DX 推進の基盤となるデジタル環境の整備と向上およびセキュリティ体制の整備
3. DX 推進による学修成果の可視化
4. DX 推進による教育の質の向上
5. DX 推進による教授法の開発と改善及び普及

1. 基本方針を確実に進めるための学内体制の確立

本学は、教育における DX を確実に進めるための強固な学内体制の確立を目指します。学内体制の確立にあっては、体制を構成する組織・人員の適切な配置、組織・人員の連携強化、及び各組織・人員の責任範囲の明確化を重視し、組織と人員の有機的な連携に基づく DX 計画の実現を目指します。また、計画の進捗の評価体制の構築と定期的な点検・評価を実施し、適時に計画を見直してまいります。

2. DX 推進の基盤となるデジタル環境の整備と向上およびセキュリティ体制の整備

本学は、最新の動向を踏まえたデジタル技術の積極的な導入と既存設備の最適化により、学生と教職員とが効率的な学修と教授を行える環境の構築を目指します。デジタル環境に対する学生・教職員のニーズを聴取し、情報関連施設・設備の拡充とネットワーク環境の安定化・高速化を図ります。また、学生・教職員が安心・安全に利用できる環境を目指し、高度な情報セキュリティシステムの導入やセキュリティポリシーの遵守に努めます。

3. DX 推進による学修成果の可視化

本学は、学修支援システムや IR システムなどを活用し、学生が自らの学びを実感できるよう、成績や本学学生が目標とする力の獲得状況などの可視化をします。また、教員が学生一人一人の学修状況を把握し、個別の指導やサポートを行うためのデータを提供します。

4. DX 推進による教育の質の向上

本学は、学生の教育の質の向上を図るため、戦略的かつ積極的な DX の活用を推進します。オンデマンドコンテンツの充実化や VR を活用した多様な学修スタイルによる教育の実施、学修成果の分析情報に基づく教育課程や教授法の改善などに取り組みます。併せて、学修支援システム、授業支援システムや Microsoft365 などの活用を通じて魅力的な学びの場を提供するとともに、学生・教職員のデジタルリテラシーやスキルの修得に努めます。

5. DX 推進による教授法の開発と改善及び普及

本学は、学修者本位の教育を実現するため、DX を活用した教授法や教育技術に関する情報収集を積極的に行い、それらを踏まえた新しい教授法の開発と改善に努め、さらに FD 活動をとおし、大学全体での教授力の向上を目指します。